

## 将来の夢や地域貢献次々



小中学生が自分の夢などを語った「新富町青少年の声を聴く集い」

### 新富 児童生徒ら意見発表

「新富町青少年の声を聴く集い」（町教委主催）は4日、町総合交流センターであった。町内の各小中学校の代表6組計30人が、将来の夢や未来のためにできることなどを発表した。児童、生徒が社会の一員としての自覚や責任、政治・行政への興味を高めることなどを目的に毎年開催。発表者以外の児童生徒は各学校からオンラインで発表

## 児湯 西都

を見守った。新田学園6年生の7人は、宮崎市などを訪れた修学旅行を通して学んだことや感じたことをSDGsの視点を交えて発表。それを踏まえ、航空自衛隊新田原基地での職業体験、農家で農業体験、スポーツ体験などを新富町内で体験するSDGsをテーマにした修学旅行誘致策を提案した。上新田学園中学部3年の押川凌駕さん（14）は小学2年から始めた野球について、監督の言葉でやる気を引き出されて夢中になったことや、中学の部活で顧問指導者のアドバイスのもと

練習を重ねて試合に勝てるようになったことなどを発表。応援、支えてくれる人のためにも「一流のプロ野球選手になる」という夢を絶対に実現する」と誓った。（林慎次）